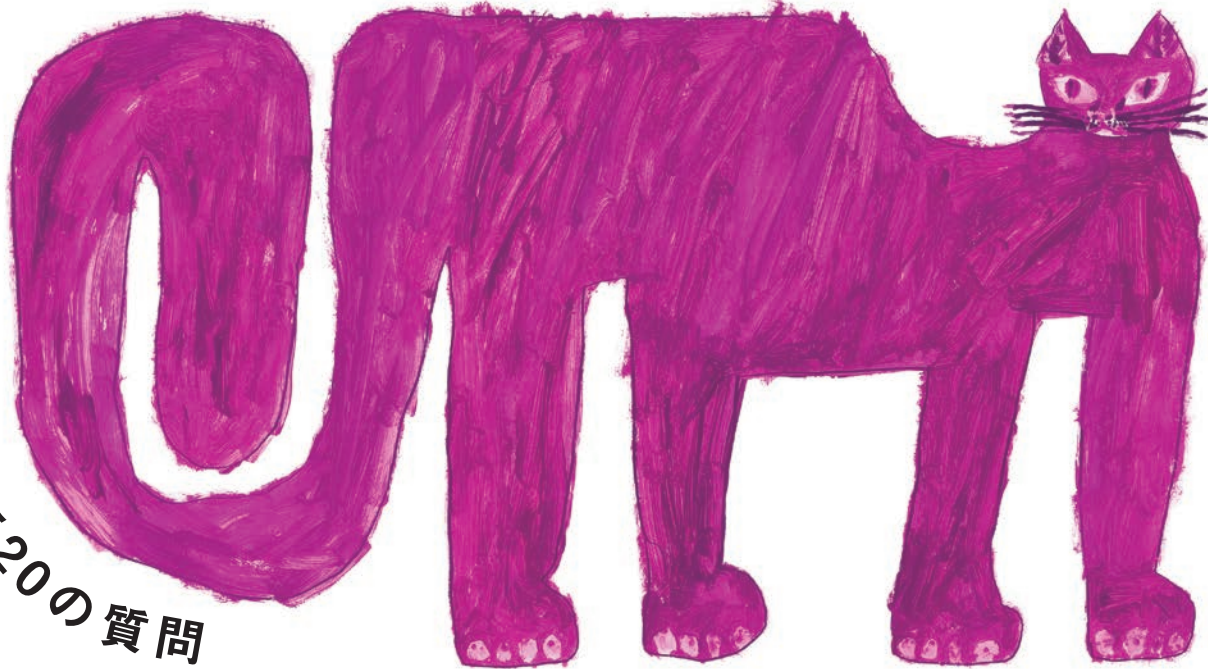




インタビュー：飛田正浩 (spoken words project デザイナー)

ヒロコマチコさんに20の質問



Q.7) 風と水、どちらが好きですか。その理由も教えてください。

えー、
どっちも好きだなあ。
せこいですね。
でも魚座だからかな。水の方が
お友達な気がする。心が悶々とした
時とか手を洗うだけで、
すっきりとする。
全然泳げないんだけど。

Q.1) 島で好きな時間帯を教えてください。そしてその理由も。

夜。
南国なので太陽の
パワーが強いかと思ったら、
圧倒的に月の力が強かった。
日々、潮の満ち引きを
感じながら過ごしていると
「宇宙にいるんだ！」って思う。

Q.2) 移住によって作風や作品に対する思いなど変化がありましたか。変化があったようであればそれを具体的に教えてください。

すごく変化しました。
移住前は自分の弱さからくる不安な気持ちを
ぬぐうため、動物たちから力をもらうために、
たくさん生き物を描いてきました。でもそれは
ごまかしに過ぎなくて、生きるということが
ちゃんとできるようになりたかったんです。
島ではそれぞれが野菜を育て、海で魚を獲り、
交換し合いながら生活しています。
そんな暮らしの中では自然をよく
感じ取らなくてははいけません。
見えないいきものをたくさん
感じ取っている人たちがいます。
「昨日、海の中に龍がいたよ。」とか
「あの木には妖怪が出るから近づいちゃい
けない」など、よく会話に表れます。
敏感に世界を感じ取る力を持っていな
ければ、暮らしていけないからだと思う。
その力を私も身につけたい、もしくは
思い出したいと思いました。きっと
小さい頃はもっと感じていたはず。
そう思った時、風がビュッと吹いた時、
雲が晴れて光が差し込んだ時、
心に立ち現れるいきものが
たくさんいました。
それを今は表現しています。

Q.9) 今回のレジャーシートでの思いつく何か特別な使い道、シチュエーションなどを教えてください。

もずくや貝を
たくさん包んで
誰かに贈りたいな。
水が漏れる恐れのある
ものにぴったりだし、
包装紙がそのまま
レジャーシートとして
使えるなんて、
嬉しいもん。

Q.3) 自然と都会の違いを教えてください。

主役が、自然か人間か、だと
思っています。本当は都会でも決して人間が
主役ではありません。でもそう勘違いしてしまいます。
主役でなくてもコントロールできていると思ってしまう。
人間の力でなんでもコントロールできていると思ってしまう。
パソコン仕事だったら、晴れても雨でも昼でも
夜でもできる。でも自然の中では、人間はそちらに
合わせるしかありません。梅雨が始まるまでに種を
植えなくちゃとか台風の前刈り取らなくちゃ、とか。
でもその方がとてもしなやかで、
思い通りにならなくて楽しいのです。

Q.5) 外で過ごす時間は平均して1日どれくらいですか。又それはどんなときですか。

日によるけど4時間くらいかな。
午前中2、3時間は庭仕事。畑のこととか、雑草抜き。
午後は絵を描く前に海に出て想像したりスケッチしたり、夫が釣りを
するのを見ていたり、貝やサンゴを拾ったりしています。
潮が大きく引く時はうずうずして家にいられず、潮干狩りに出かけます。
見たことがない色とりどりのいきものがたくさんいて、めっちゃくちゃ
面白いんですよ！

Q.10) お仕事と遊び、違いがあればその差異を具体的に教えてください。

お仕事という
私にとっては
イラストレーションです。
それは必ず何かを
惹き立たせるための絵なので、
そのものがよりよくなるように
考えます。本の装画や舞台の
ポスターだったら、顔になる部分なので、
まず興味を持ってもらえるように、そして
内容の世界がより輝いて届くように。考えすぎても絵が
固くなってしまいますので、心に願いつつ、のびのび
描くようにしています。それとは対照的に展示会の絵や
LIVE PAINTING は制作過程が遊びに近い。たくさんの挑戦や
実験もできる。踊っていたり、歌っていたり、
お祭りのような気持ちです。仕事と遊び、
違いはあるけど、どちらも真剣勝負です。

Q.8) ファッションで気を遣っていることはありますか。あるようであれば具体的に教えてください。

家にいるときも好きな服を着る。
絵を描くから汚れるとか、誰にも会わないから、という理由で
どうだっていいような服は着ない。絵を描く時用の汚れてもいい服でも、
好きなものを。それを着て過ごすだけで、元気が出るし嬉しくなる。
あとは主に東京に暮らしていた時だけけど、必ず背守りを
自分で縫っていました。やっぱり不安な気持ちをやわらげるため。
ピークは過度な刺繍になっていったこともありました。
今は心は安定しているけど、ほんの気持ちのお守りとして、
小さな鈴をつけています。

Q.4) 未来は明るいですが、その答えの理由も教えてください。

うーん、難しい。
明るくなるように
しなくちゃ！とは思って
います。今、自分が楽しく暮ら
せる世界を作ることが未来を
明るくする手立てだとは
思っています。何かを選
ばなくちゃいけない時、
楽しいかどうか、
居心地いいか
どうかで、選択
する。

Q.6) 制作物の完成はそれを書き始める時点で見えていますか。それとも描きながら考えていますか。そしてその方が完全に良いです。始めに想定していても、途中でどんどん色も形も変わっていきます。

描きながら考えています。そしてその方が完全に良いです。
始めに想定していても、途中でどんどん色も形も変わっていきます。

される自然破壊や貧富の差など、社会で問題とされている事柄に対してミロコさんなりに気にかけていることや行動を起こしていることなどありますか。

Q.12) このレジャーシートに寝転んで見えるものはなんですか、朝と夜のそれぞれを教えてください。

朝は鳥たちの歌声。
夜は雲の隙間から見える天の川。

Q.11) 現在懸念されている新しいもの古いものそれぞれを一つずつ具体的に教えて下さい。

新しいものは自分で編んだ靴下。
趣味だった編み物を奄美に来てから暑くて封印していたのですが、ウールじゃなくてコットンの糸で編んだら、スルスルと気持ち良くて風通しも良くて、最高です。
古いものは、父の机と母のテーブル。
新居に引っ越ししたのを機に、実家にあったものを引き継ぎました。それは私の家に来て、以前とは違う新しい使い方をされ始めたので、新しいものとも言えるかもしれない。

Q.16) どうして島に移住したのでしょうか。

暮らしをしっかりとすることが自分を強くすることだと思った時、奄美大島がぴったりだったこと、今まで縛られていたことが嘘のように、ルールや決まりが少ない世界で生きている人々がいたこと。
そしてその人々は絵の力をたくさん感じていました。
ここで絵を描きたい！と思ったのが一番の理由です。

Q.14) 大人の良さ、子供の良さ、それぞれ思いつくことを教えてください。

大人の良さは世界が広いこと。どこへだって行ける。
子供の良さは感覚で受け取りまくれること。初めてのことがたくさんあるので、先入観なく見れること。想像でどこへだって行ける。

Q.19) 思い出に残っているピクニック、楽しかったことや辛かったことなど教えてください。

車酔いがひどかったのも、バスで行く遠足などは地獄でした。
そういえばピクニックってあんまりしたことがないなあ。
お花見は毎年やってたけど、特別なことは思いつかないかな。

Q.15) 最近食べた美味しいものを教えてください。

アジのなめろう。
夫が釣ったアジで作ってくれました。

Q.20) 絵描き=アーティスト、イラストレーター=デザイナー、この辺の区別はありますか。あるとすればそれを具体的に教えてください。

あります。仕事と遊びの違いのところでは答えるようなことでもありますが、イラストレーションのお仕事の際は大抵の場合、デザイナーがいるので、完成予想図はなるべく持たないようにしています。まずデザインを考えすぎた絵を描くと、縮こまってしまうので、あまり良い仕上がりになりません。そのかわり絵もかなり委ねてもらいます。
構図や描く内容を先に伝えられすぎるとワクワクが減ります。
ただ、何かのための絵ではあるので、イラストレーターは、何かのテーマがあって発想して生きる人
画家は、何も無いことから発想して生きる人
というような意識です。私は完全に後者ですが、絵で関わって広がる世界から教わったことも多いので、イラストレーションのお仕事も大切にやっています。

Q.18) 飼っているネコのエピソードをいくつか教えてください。

窓を開けていると鳥がたまに入ってきます。都会で育って生まれてこのかた一度も狩りをしたことがないはずなのに、瞬時に飛び回る鳥を捕まえたことには驚きました。家にはたくさんヤモリがいるのですが、夜な夜な捕まえて、朝ヒックリ返ってお亡くなりになっています。それは困ったものですが。
東京では白黒の猫ばかり4匹で飼っていました。去年、島で生まれた黒猫が増えました。ある朝見ると、その黒猫が白い絵の具をぶちまけてしまい、半分白くなっていました。
お兄ちゃん猫たちが羨ましかったのかな。

Q.17) 健康で気を使っていることはありますか。

お日様を浴びること。

ミロコマチコさんに20の質問

インタビュアー：飛田正浩 (spoken words project デザイナー)

